



環境省

令和5年度国民のペットに対する考え方調査 結果概要について

2024年2月22日(木)

環境省 自然環境局 総務課 動物愛護管理室



調査の目的と概要

目的

『動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針』（平成25年環境省告示第80号）において、「万人に共通して適用されるべき社会的規範としての動物の愛護及び管理の考え方は、普遍性及び客観性の高いものであるとともに、国民的な合意の下に形成していくことが必要である。動物愛護の精神を広く普及し、私たちの身についた習いとして定着させ、『人と動物の共生する社会』を実現に向けた将来ビジョンの形成を目指していくためには、我が国の風土や社会の実情、日本人の動物観の特質や海外との違いを踏まえ、人と動物の関係についての丁寧な議論を積み重ねることが重要である。」とされています。この意識調査は、国民のうち7、8割がペットを飼育していない現状を踏まえ、動物を飼っている人、飼っていない人、それぞれの動物への意識調査を行ない、多様な価値観を持つ国民の相互理解に取り組むものです。今回の調査では、主に家庭等で飼育されるペット動物に主眼を置いています。

調査概要

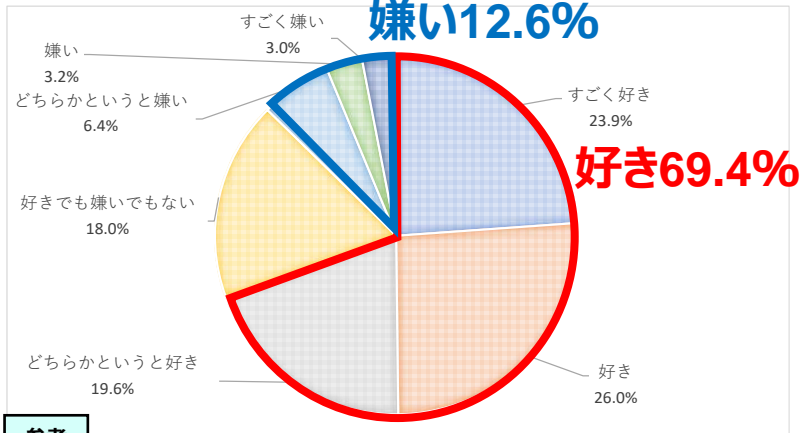
- ・名称：令和5年度 国民のペットに対する考え方調査
- ・調査方法：インターネットアンケート
- ・調査対象：一般市民
- ・回答者：全国5000人（47都道府県）
- ・男女比：男性50.7%、女性47.9%、未回答1.4%
- ・世代比：10代～20代13.1%、30代～40代32.7%、50代～60代40.7%、70代以上13.5%
- ・調査時期：2023年12月

① ペットは好きですか？ 嫌いですか？ 飼いたいと思いますか？

※この調査での「ペット」は哺乳類と鳥類を指しています。

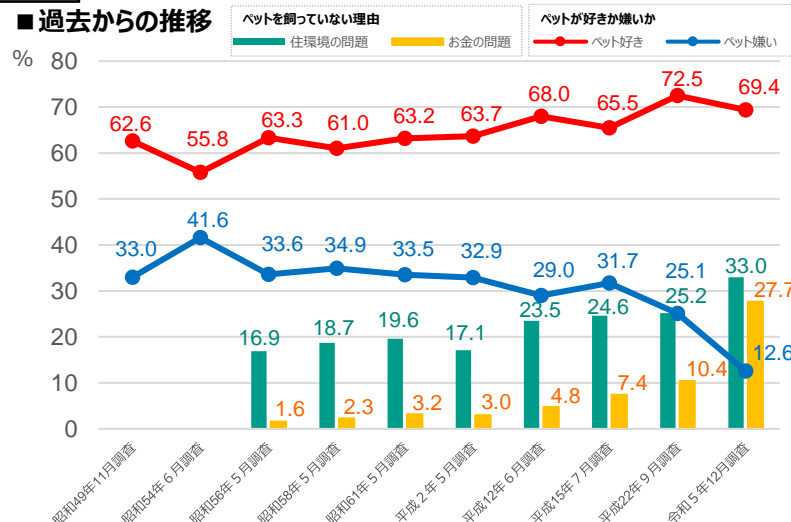
Q.ペットが好きですか、嫌いですか？

■ 令和5年度調査



参考

■ 過去からの推移



※昭和49年～平成22年は、内閣府の動物愛護に関する世論調査の結果です。質問の文言等が異なるため、参考程度にご覧ください。

Q.ペットを飼いたいですか？

| 飼いたい | 飼いたいが、飼える環境や状況ではない | 飼いたくない |
|-------|--------------------|--------|
| 29.5% | 38.8% | 31.7% |

Q.ペットを飼っていますか？

| 現在飼っている | 過去に飼っていた | 飼ったことがない |
|---------|----------|----------|
| 20.1% | 48.8% | 31.1% |

現在ペットを飼っていない理由 ※複数選択可

- 1位 「ペットを飼える住環境ではないから」 (33.0%)
- 2位 「別れが辛いから」 (29.3%)
- 3位 「世話をする時間がないから」 (28.4%)
- 4位 「お金がかかるから」 (27.7%)
- 5位 「世話が面倒だから」 (21.7%)

■ 全体的な傾向

平成22年に内閣府が行なった「動物愛護に関する世論調査」と比べて「**お金がかかるから**」と答えた人は、**3倍弱に増加**。
「**住環境**」の問題をあげる人は、年々徐々に**増加傾向**にある。

■ 年齢別

10～40代では「**時間**」「**お金**」「**住環境**」の問題をあげる人が多く、**70代以上**では「**旅行に行けない**」や「**終生飼養が難しい**」と回答する人が、他の世代の割合より多かった。

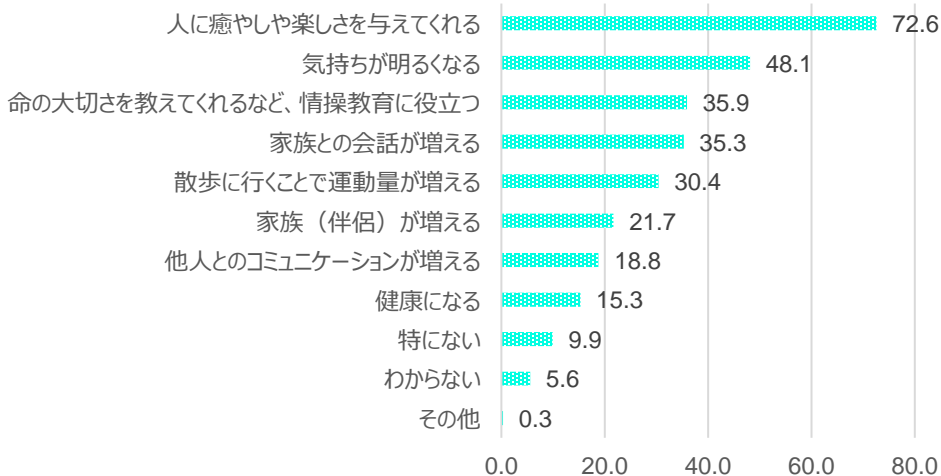
② ペット飼育の効果について

Q.ペット飼育で得られる効果は？

※複数選択可

ペットの飼育で得られる効果はどのようなものだと思いますか？

- 1位 「人に癒やしや楽しさを与えてくれる」 (72.6%)
- 2位 「気持ちが明るくなる」 (48.1%)
- 3位 「命の大切さを教えてくれるなど、情操教育に役立つ」 (35.9%)
- 4位 「家族との会話が増える」 (35.3%)
- 5位 「散歩に行くことで運動量が増える」 (30.4%)



■全体の傾向

- ・ペットの効果は「癒やし」が最多。

■ペットが嫌いな人の意見

- ・効果は「特にない」もしくは「わからない」が半数近くを占める。
- ・「金がなくなる」というマイナス効果の意見もあった。

Q7.ペットの飼育で得られる効果はどのようなものだと思いますか？(いくつでも)

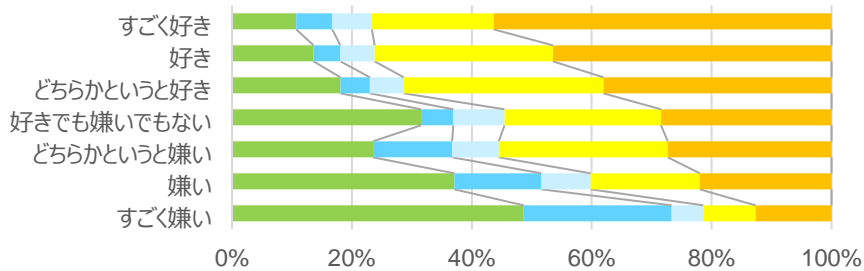
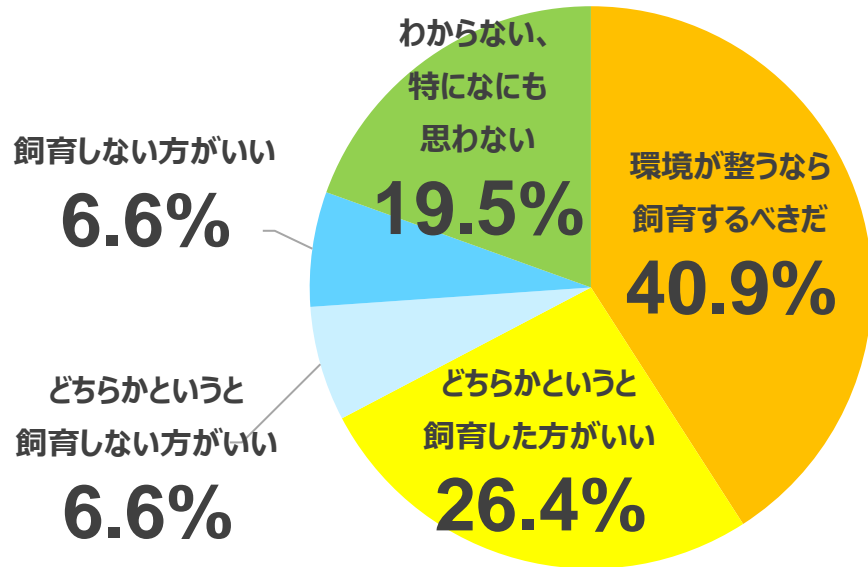
| | 調査数 | 特にない | わからない | 人に癒やしや楽しさを与えてくれる | 家族との会話が増える | 命の大切さを教えてくれるなど、情操教育に役立つ | 他人とのコミュニケーションが増える | 散歩に行くことで運動量が増える | 健康になる | 気持ちが明るくなる | 家族(伴侶)が増える | その他 | |
|---------|------------|------|-------|------------------|------------|-------------------------|-------------------|-----------------|-------|-----------|------------|-------|------|
| 全体 | 5000 | 9.9% | 5.6% | 72.6% | 35.3% | 35.9% | 18.8% | 30.4% | 15.3% | 48.1% | 21.7% | 0.3% | |
| 「D」好き嫌い | すごく好き | 1193 | 1.3% | 1.0% | 89.9% | 58.3% | 56.2% | 34.8% | 41.1% | 31.1% | 74.2% | 40.9% | 0.8% |
| | 好き | 1298 | 2.8% | 1.6% | 84.0% | 44.1% | 40.6% | 20.9% | 36.8% | 16.6% | 57.8% | 24.3% | 0.4% |
| | どちらかという好き | 980 | 5.2% | 4.2% | 77.2% | 29.8% | 31.8% | 14.7% | 31.8% | 11.2% | 46.4% | 16.3% | - |
| | 好きでも嫌いでもない | 901 | 16.3% | 12.1% | 56.6% | 17.1% | 21.5% | 9.0% | 18.4% | 5.5% | 25.4% | 8.9% | 0.1% |
| | どちらかという嫌い | 319 | 29.2% | 14.4% | 42.9% | 10.7% | 19.7% | 6.6% | 15.4% | 4.4% | 17.6% | 6.6% | - |
| | 嫌い | 159 | 39.0% | 20.1% | 29.6% | 6.3% | 11.3% | 3.8% | 10.7% | 1.3% | 11.9% | 6.9% | - |
| | すごく嫌い | 150 | 61.3% | 13.3% | 9.3% | 2.7% | 5.3% | 1.3% | 6.0% | 2.0% | 7.3% | 6.7% | 0.7% |

注)



③ ペットの活用について

Q.学校での動物飼育をどう思いますか？



■ わからない、特になにも思わない ■ 飼育しない方がいい
 ■ どちらかという飼育しない方がいい ■ どちらかという飼育した方がいい
 ■ 環境が整うなら飼育するべきだ

■ 全体の傾向

・回答者の7割弱は、学校での動物飼育に肯定的。

■ ペットが嫌いな人の意見

・嫌いな人のうち43.5%は学校飼育に肯定的、23.6%は否定的。

・否定的な意見の理由には、「アレルギーへの考慮」「学業への専念」「衛生面」「苦手な人もいる」「教員への負担」などがあげられた。

Q8-1.学校で動物を飼育することについてどう思いますか？

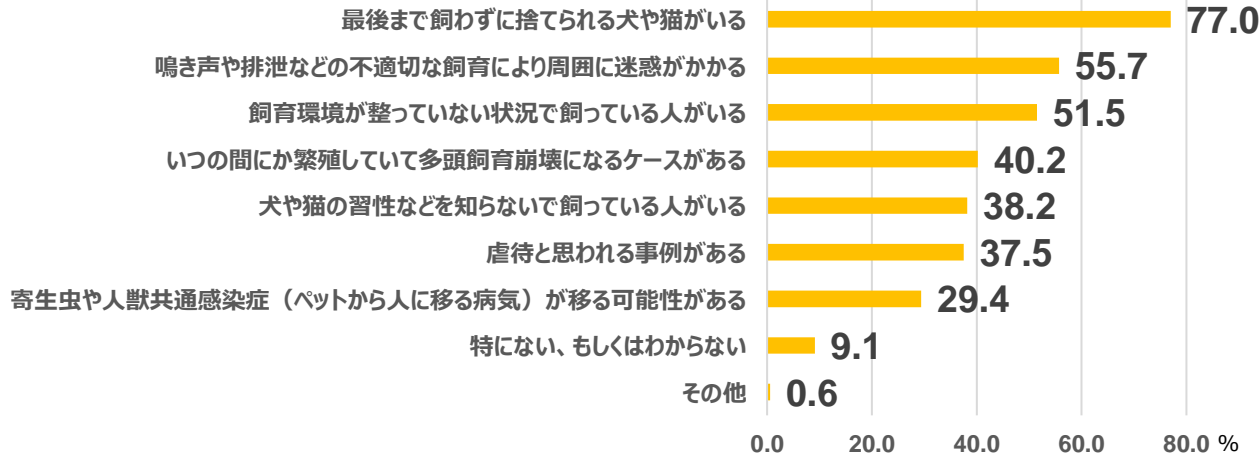
| | 調査数 | 環境が整うなら飼育するべきだ | どちらかという飼育した方がいい | どちらかという飼育しない方がいい | 飼育しない方がいい | わからない、特になにも思わない |
|---------|------------|----------------|-----------------|------------------|-----------|-----------------|
| 全体 | 5000 | 40.9% | 26.4% | 6.6% | 6.6% | 19.5% |
| Q1.好き嫌い | すごく好き | 56.3% | 20.3% | 6.6% | 6.0% | 10.7% |
| | 好き | 46.5% | 29.7% | 5.7% | 4.5% | 13.6% |
| | どちらかという好き | 38.1% | 33.3% | 5.7% | 4.9% | 18.1% |
| | 好きでも嫌いでもない | 28.4% | 26.1% | 8.5% | 5.4% | 31.5% |
| | どちらかという嫌い | 27.3% | 28.2% | 7.8% | 13.2% | 23.5% |
| | 嫌い | 22.0% | 18.2% | 8.2% | 14.5% | 37.1% |
| | すごく嫌い | 12.7% | 8.7% | 5.3% | 24.7% | 48.7% |

注)

| | | |
|-------|---------|----------|
| 全体との差 | +5 ポイント | +10 ポイント |
| | -5 ポイント | -10 ポイント |

④ ペット飼育における問題点について

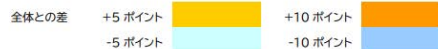
Q.犬や猫の飼育における問題点は？



Q11.犬や猫の飼育において、どのようなことが問題だと思いますか？(いくつでも)

| | 調査数 | 最後まで飼わずに捨てられる犬や猫がいる | 鳴き声や排泄などの不適切な飼育により周囲に迷惑がかかる | 犬や猫の習性などを知らないで飼っている人がいる | 飼育環境が整っていない状況で飼っている人がいる | 寄生虫や人獣共通感染症(ペットから人に移る病気)が移る可能性がある | 虐待と思われる事例がある | いつの間にか繁殖していて多頭飼育崩壊になるケースがある | 特にない、もしくはわからない | その他 | |
|----------|------------|---------------------|-----------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------------------|--------------|-----------------------------|----------------|-------|------|
| 全体 | 5000 | 77.0% | 55.7% | 38.2% | 51.5% | 29.4% | 37.5% | 40.2% | 9.1% | 0.6% | |
| Q11.好き嫌い | すごく好き | 1193 | 88.2% | 56.8% | 52.9% | 66.7% | 28.5% | 54.7% | 55.2% | 3.6% | 0.6% |
| | 好き | 1298 | 81.4% | 56.3% | 38.4% | 54.9% | 27.7% | 41.3% | 41.9% | 4.5% | 0.7% |
| | どちらかという好き | 980 | 76.2% | 58.0% | 34.8% | 48.8% | 29.6% | 33.0% | 37.0% | 8.0% | 0.2% |
| | 好きでも嫌いでもない | 901 | 67.8% | 51.6% | 28.6% | 40.6% | 28.6% | 25.5% | 29.1% | 16.0% | 0.9% |
| | どちらかという嫌い | 319 | 63.6% | 57.4% | 31.0% | 40.1% | 36.1% | 21.9% | 30.7% | 16.6% | - |
| | 嫌い | 159 | 67.3% | 55.3% | 29.6% | 34.0% | 35.8% | 22.6% | 26.4% | 18.9% | 0.6% |
| | すごく嫌い | 150 | 48.0% | 48.0% | 23.3% | 28.0% | 32.0% | 19.3% | 27.3% | 31.3% | 1.3% |

注)



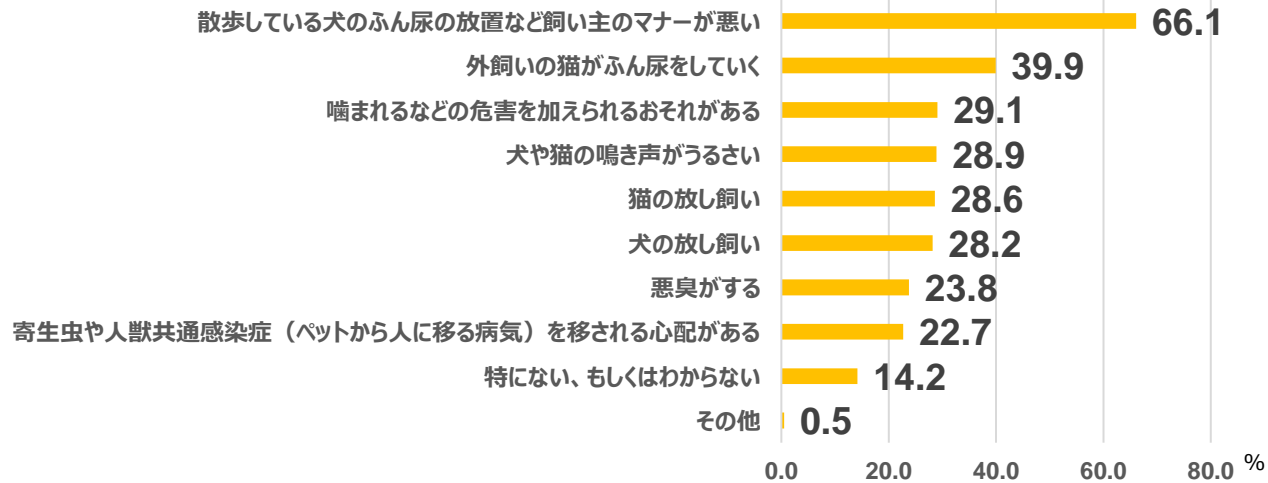
■好きな層と嫌いな層の比較

・ペットが好きなら好きなほど、問題意識は高い。

・嫌いな人の層は、「虐待」や「多頭飼育崩壊」への問題意識は低いが、「寄生虫や感染症」に関しては、好きな人の層より問題意識が高い。

⑤ ペット飼育における迷惑について

Q.他人が犬や猫を飼う場合、迷惑だと感じることは？



Q12.他人が犬や猫を飼う場合、どのようなことに迷惑を感じますか？(いくつでも)

| | 調査数 | 散歩している犬のふん尿の放置など飼い主のマナーが悪い | 外飼いの猫がふん尿をしていく | 犬や猫の鳴き声がうるさい | 犬の放し飼い | 猫の放し飼い | 噛まれるなどの危害を加えられるおそれがある | 悪臭がする | 寄生虫や人獣共通感染症（ペットから人に移る病気）を移される心配がある | 特にない、もしくはわからない | その他 | |
|----------|------------|----------------------------|----------------|--------------|--------|--------|-----------------------|-------|------------------------------------|----------------|-------|------|
| 全体 | 5000 | 66.1% | 39.9% | 28.9% | 28.2% | 28.6% | 29.1% | 23.8% | 22.7% | 14.2% | 0.5% | |
| ペット好き・嫌い | すごく好き | 1193 | 69.6% | 37.7% | 24.8% | 30.6% | 27.7% | 27.4% | 20.8% | 20.5% | 13.1% | 0.6% |
| | 好き | 1298 | 68.0% | 37.8% | 27.0% | 27.0% | 28.0% | 27.5% | 21.0% | 21.5% | 11.8% | 0.5% |
| | どちらかというが好き | 980 | 65.0% | 43.0% | 30.0% | 28.1% | 27.6% | 31.1% | 25.2% | 22.2% | 11.8% | 0.2% |
| | 好きでも嫌いでもない | 901 | 61.6% | 39.5% | 29.1% | 23.9% | 28.2% | 25.2% | 23.6% | 22.4% | 20.1% | 0.3% |
| | どちらかという嫌い | 319 | 62.7% | 42.9% | 36.1% | 29.2% | 30.4% | 36.7% | 31.0% | 27.3% | 15.4% | 0.6% |
| | 嫌い | 159 | 71.7% | 43.4% | 37.7% | 37.7% | 38.4% | 36.5% | 28.9% | 31.4% | 13.8% | 0.6% |
| | すごく嫌い | 150 | 56.7% | 47.3% | 44.7% | 33.3% | 38.0% | 42.0% | 43.3% | 36.0% | 23.3% | 2.7% |

注)

全体との差
 +5 ポイント (Yellow)
 -5 ポイント (Cyan)
 +10 ポイント (Orange)
 -10 ポイント (Blue)

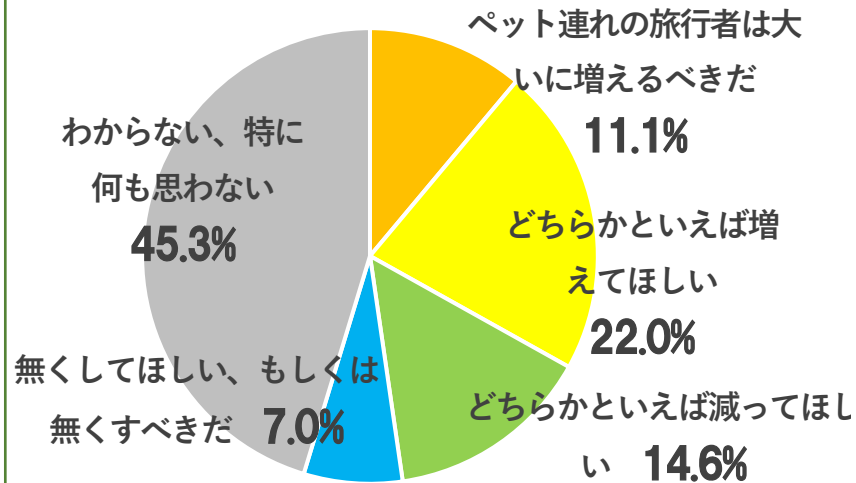
■ 全体の傾向

・ペットが嫌いなら嫌いなほど、どの項目においても「迷惑」だと思う度合いは高い。

・「鳴き声がうるさい」の項目では、ペットがすごく好きな人の層では24.8%、ペットがすごく嫌いな人の層では44.7%と感じ方に大きな差が出た。

⑥ ペットツーリズムについてー1

ペット連れ旅行をどう思いますか？



Q9-1.犬などのペットを連れて旅行することをどう思いますか？

| | 調査数 | ペット連れの旅行者は大いに増えるべきだ | どちらかといえば増えてほしい | どちらかといえば減ってほしい | 無くしてほしい、もしくは無くすべきだ | わからない、特に何も思わない |
|---------|------------|---------------------|----------------|----------------|--------------------|----------------|
| 全体 | 5000 | 11.1% | 22.0% | 14.6% | 7.0% | 45.3% |
| 〇「好き嫌い」 | すごく好き | 28.2% | 32.8% | 6.7% | 2.7% | 29.7% |
| | 好き | 10.3% | 30.8% | 12.2% | 3.5% | 43.1% |
| | どちらかというが好き | 5.5% | 21.2% | 17.8% | 3.9% | 51.6% |
| | 好きでも嫌いでもない | 2.3% | 8.9% | 19.4% | 8.4% | 60.9% |
| | どちらかという嫌い | 1.6% | 5.0% | 27.9% | 15.7% | 49.8% |
| | 嫌い | 1.9% | 3.1% | 20.8% | 32.7% | 41.5% |
| | すごく嫌い | 0.7% | 1.3% | 13.3% | 37.3% | 47.3% |

注)



■全体の傾向

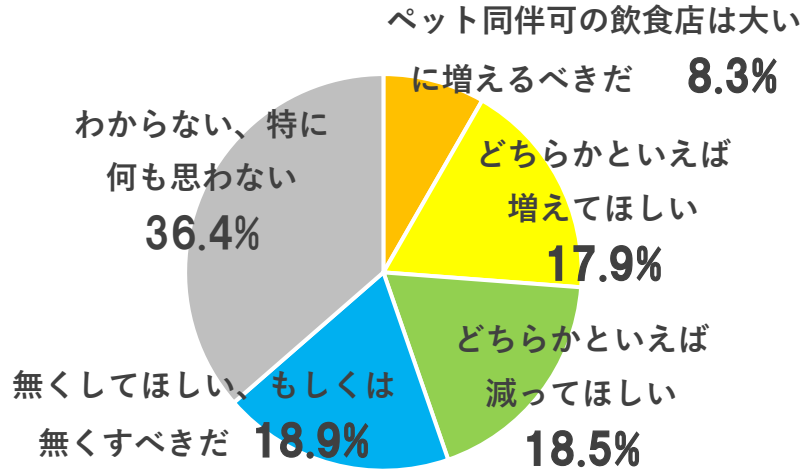
・「増えてほしい」は3割強、「減ってほしい」は2割強となったが、「わからない」を4割以上の人が選んだ。

■ペットが嫌いな人の意見

・ペットがすごく嫌いな人の回答とペットがすごく好きな人の回答では、「無くしてほしい、もしくは無くすべきだ」や「ペット連れ旅行者は大いに増えるべきだ」を選択した人の割合で大きな差が出る結果となった。

⑦ ペットツーリズムについてー2

飲食店でのペット同伴をどう思いますか？



Q10-1.レストランや喫茶店などの飲食店でのペット同伴をどう思いますか？

| | 調査数 | ペット同伴可の飲食店は大きくなるべきだ | どちらかといえば増えてほしい | どちらかといえば減ってほしい | 無くしてほしい、もしくは無くすべきだ | わからない、特に何も思わない | |
|---------|------------|---------------------|----------------|----------------|--------------------|----------------|-------|
| 全体 | 5000 | 8.3% | 17.9% | 18.5% | 18.9% | 36.4% | |
| Q1.好き嫌い | すごく好き | 1193 | 22.9% | 30.8% | 9.6% | 7.6% | 29.2% |
| | 好き | 1298 | 6.3% | 24.6% | 17.2% | 12.6% | 39.3% |
| | どちらかという好き | 980 | 4.0% | 15.8% | 22.6% | 18.6% | 39.1% |
| | 好きでも嫌いでもない | 901 | 1.4% | 4.9% | 26.0% | 25.2% | 42.5% |
| | どちらかという嫌い | 319 | 1.3% | 2.8% | 30.1% | 33.9% | 32.0% |
| | 嫌い | 159 | 1.9% | 0.6% | 13.8% | 56.6% | 27.0% |
| | すごく嫌い | 150 | 0.7% | 0.7% | 8.7% | 56.0% | 34.0% |

注)



■全体の傾向

- ・「増えてほしい」は2割強、「減ってほしい」は3割強となった。
- ・前頁の旅行についての質問よりも、飲食店でのペット同伴についての質問のほうが、否定的な意見が多い結果となった。

■ペットが嫌いな人の意見

- ・「無くしてほしい、もしくは無くすべきだ」という意見については、ペットがすごく好きな人以外では2桁に上り、旅行よりも飲食という衛生管理などが絡む事柄であるため、シビアな目で見ている人が多いということが浮き彫りとなっている。
- ・また、年齢層では高年齢層のほうが、否定的な意見が多いという傾向にあった。



環境省